



◆桜咲く地蔵と桜守りの会のみなさん。法要は今春を予定

桜咲く地蔵安置、受験祈願にも！

桜守りの会がシーバルピア女川へ

震災で津波を受けながらも数輪の花を咲かせて、町民に勇気を与えてくれた旧第二保育所庭の桜。その後、枯死したものの、幹から「桜咲く地蔵」として木地師・小田健太郎氏(京都府)により仏像が彫りだされ、平成26年3月に開眼供養を行った後、照源寺に保管していました。

町民有志でつくる桜守(も)りの会は、この地蔵を12月22日にシーバルピア女川の「りぼん」と「幸楽」の間の通路に設置。日中は地蔵堂の扉は開いており、拝むことができます。これからは、新しい場所でみなさんの暮らしを見守ります。



◆新春恒例カラー放水。火災予防に心がけましょう

新春の空へ描け、虹色アーチ

消防出初式&魚市場初売手締式

1月5日は、女川魚市場東荷捌場東側岸壁で消防出初式、続いて女川小学校体育館で長年にわたり消防団活動に尽力した優良消防団員の表彰式が行われました。団員の士気高揚と地域の無火災を願ってのカラー放水では、大勢の観客が見守る中、色鮮やかに勢いよくアーチが描かれました。

また、同日朝には女川魚市場で、今年の豊漁と安全操業を祈願しての初売り手締式、続いて初競りが行われました。

※消防団では団員を募集中！興味のある方は役場企画課防災係(☎54-3131内線222)までご連絡ください。



◆プログラムを入力し、何度も動作を検証しました

ロボット動かし、考える力を

女川向学館でプログラミング教室

放課後学校「女川向学館」では、子どもたちへさまざまな学習指導と心のケアを行っています。12月9日、16日には奈良女子大学の協力により中学1年生対象のプログラミング教室を行いました。

課題は、紙に書いた線の上をロボットに走行させるもので、4~5人が1組になって「チームで創造力を発揮し、問題解決を図る」「仮説→検証を繰り返し、考える力を高める」ことをねらいとしています。大学生らがヒントを与えながらロボットがコースを走破すると、より難しい動きへ挑戦するなど積極的に取り組んでいました。



◆回収したゴミは約30袋。心も清々しくなりますね

ごみのない美しいまちづくり

女川駅前で美化活動

「地元市場ハマテラス」のオープンを前に、女川みらい創造(株)が呼びかけて女川駅前から商業エリアにかけての美化活動が、12月15日に行われました。

今回は、同エリアの事業者らを中心に町観光協会や県立支援学校女川高等学園の生徒も一緒になって周辺のゴミ拾い・清掃を行いました。美化活動を継続することで、清潔感の維持だけでなく、地域の連携を深めて災害時には支え合い、助け合う仕組みが生まれます。みなさんも、住民・観光客が互いに気持ちよい、「美しいまちづくり」に努めていきましょう。